宇部工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語ＩＡ

科目基礎情報

科目番号	51001	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	経営情報学科	対象学年	1
開設期	1st-Q	週時間数	4
教科書/教材	「現代の国語」（明治書院）、「言語文化」（明治書院）、「常用漢字の基本演習」（東京書籍）、「カラー版新国語便覧」（第一学習社）		
担当教員	畑村 学		

到達目標

１、文中のキーワードやキーセンテンスに線を引くことができる。
２、キーワードやキーセンテンス等を利用して要約文やコメントを書くことができる。
３、正しい文字を、読みやすい楷書で書くことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安（可）	未到達レベルの目安
評価項目1	文中のキーワードやキーセンテンスに８割以上の正答率で線を引くことができる。	文中のキーワードやキーセンテンスに７割の正答率で線を引くことができる。	文中のキーワードやキーセンテンスに６割の正答率で線を引くことができる。	文中のキーワードやキーセンテンスに６割未満の正答率でしか線を引くことができない。
評価項目2	文中のキーワードやキーセンテンスをもとに、Ａ評価以上（８割以上）の要約文やコメントが書ける。	文中のキーワードやキーセンテンスをもとに、Ｂプラスの評価（７割）の要約文やコメントが書ける。	文中のキーワードやキーセンテンスをもとに、Ｂ評価（６割）の要約文やコメントが書ける。	文中のキーワードやキーセンテンスをもとに、Ｂ評価以下（６割未満）の要約文やコメントしか書けない。
評価項目3	出題された漢字や語彙に関する問題を８割以上解答できる。	出題された漢字や語彙に関する問題を７割以上解答できる。	出題された漢字や語彙に関する問題を６割以上解答できる。	出題された漢字や語彙に関する問題を６割未満しか解答できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	第１学期開講。 検定教科書の評論文と小説を中心に、文中のキーワードやキーセンテンスに線を引きながら文章を読むことで、社会に出ても使える文章の読み方や、読解力の向上を目指す。また、読解力をさらに向上させるための要約文の作成や、読解した内容に対して自分のコメントを表現するためのコメントの書き方も学習する。 毎回の授業の最初に新聞の記事を用いたディクテーションを行い、聞く力を向上させ、社会への関心を喚起し視野を広げるとともに、常識的な漢字や語彙が書けるようにする。
授業の進め方・方法	授業では毎回学習内容に関係する作業がある。 作業は個人の作業だけでなく、ペアワークやグループワーク等、アクティブ・ラーニングを多く取り入れる予定である。 「常用漢字の基礎演習」の学習範囲のテストを行う。
注意点	教科書は毎時間必ず持参して下さい。 授業では毎時間プリント（Ａ３、あるいはＡ４サイズ）を配布します。ノートを準備する必要ありませんが、プリントを綴じるためのファイル（２つ穴ファイル）を準備してください。 教科書や教科書以外の文章に線を引き、それをもとに要約文やコメントを書きます。三色のボールペン（赤、青、緑）を準備して下さい。１本で３色が使えるものが便利です。

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス 読解と要約①	シラバスを用い、授業の概要、到達目標、成績評価方法を理解できる。 文章を読解するための基本的な読書方法について理解できる。①
		2週	読解と要約② 読解と要約③	文章を読解するための基本的な読書方法について理解できる。② 教科書掲載の論理的文章を読み、キーワード、キーセンテンスを見つけることができる。①
		3週	読解と要約④ 読解と要約⑤	教科書掲載の論理的文章を読み、キーワード、キーセンテンスを見つけることができる。② キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に要約文が書ける。 ①
		4週	読解と要約⑥ 読解と要約⑦	キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に要約文が書ける。 ② キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に要約文が書ける。 ③
		5週	読解と要約⑧ 読解とコメント①	キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に要約文が書ける。 ④ キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に活用してコメントが書ける。 ①
		6週	読解とコメント② 読解とコメント③	キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に活用してコメントが書ける。 ② キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に活用してコメントが書ける。 ③
		7週	読解とコメント④ 授業の振り返り	キーワード、キーセンテンスを見つけ、それらを有効に活用してコメントが書ける。 ④ 授業を振り返り、学習内容の理解を深めることができる。

		8週	定期試験 試験返却・解説	定期試験

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	

評価割合

	定期試験	レポート	小テスト	合計
総合評価割合	60	40	0	100
知識の基本的な理解	40	20	0	60
思考・推論・創造への適用力	10	20	0	30
汎用的技能	10	0	0	10